

学科名	(生)(電)(建・デ)(情)				
科目名	ブラッシュアップII				
科目区分	基礎教養部門	単位数	1	開講時期	前期
必修・選択の別					
担当者	松原留美				
授業の到達目標 (シラバスから)	前期に学んだことに基づき、英語の4技能を更に高める。様々な英文を読み、読解力のみならず、簡単なライティング力、リスニング力も高めていく。また、合わせて文化的背景も学ぶ。				
日程と内容	第1回: 前期の復習、自己紹介文の書き方 第2回: Unit13 Viva Grand Central Terminal! 「100年の時を越えて」 第3回: Unit14 Markets are Fun「マーケットは最高!」 第4回: Unit15 September 11 Memorial「追悼の地を訪ねて」 第5回: Unit16 Central Park & City Marathon「セントラルパークとシティマラソン」 第6回: Unit17 Contemporary Art in New York「ニューヨークは現代美術の宝庫」 第7回: Unit18 Christmas in New York「ニューヨークのクリスマス」 第8回: 前半のまとめ、英文手紙の書き方 第9回: Unit19 Email from the Teacher(2)「ニューヨークのメッセージ(2)」 第10回: Unit20 Goodbye, New York「さよなら、ニューヨーク」 第11回: A Japanese in New York(1) テキストp.28 第12回: A Japanese in New York(2) テキストp.50 第13回: A Japanese in New York(3) テキストp.72 第14回: A Japanese in New York(4) テキストp.94 第15回: まとめ				
成績評価基準	臨時試験	40%	実技		
	報告書・レポート	20%	部外評価		
	課題	20%	プレゼンテーション		
	演習	20%	計	100%	
授業到達目標の達成度	文型の理解を中心にリーディングをすすめることと並行して、不定詞、動名詞、関係代名詞、分詞などのより複雑な文法のテクニックの利用の仕方を学んだ。英文を読みながら自分で文法を分析し読み薦める力が、かなり身に付いたと思われる。文法用語の使い分けを十分に理解できるようになった。				
反省点	テキスト内に英語独特の表現例が数多く出ていたが、もっと状況説明を詳しくできればより定着したであろうと感じる。				
来年度の計画	テキスト内において使用した表現がより定着するようにしたいので、プリントを作成して配布する。また、提出物など、書いた英文は、前回と同様、丁寧に添削して返却したい。				
授業評価アンケートに対するコメント	概して、わかりやすかった、また楽しく英語を勉強できたというコメントであった。添削を丁寧に、各学生と細かいコミュニケーションが取れたのがよかったと感じる。今後は、文法的な説明をわかりやすいままに保ちながらも、独特の英語表現の説明をより詳細にして、受講者のリスニングの理解度を向上させたいと思う。				
履修登録者数	41名	定期試験 受験者数	41名	合格者数	41名
				合格率	100%